

2011 OPEN CAMPUS

【犬山キャンパス】

7/17⑧ 8/21⑧ 10:00~14:30(受付9:30から)

- ◆モリゾー・キッコロといっしょにリサイクルアートに挑戦してみませんか? 情報センターでお待ちしています。
- ◆ウェルカムガイドから学部学科紹介、各種相談コーナー、体験授業、健康チェックに栄養相談、そして幼稚園開放! ランチサービス&学生カフェ“メレンゲ”からドリンクサービス、その他、オリジナルグッズもプレゼント!

【名駅サテライトキャンパス】

7/24⑧
8/27④・28⑧
13:00~16:00(受付12:30から)
10/30⑧

- ◆キャリア祭(ミニオープンキャンパス)
- ◆学科紹介、ダンスパフォーマンス、こだわりのスイーツコレクション、相談コーナー…。
- ◆オリジナルグッズもプレゼント!



●学生クルー募集中! 私たちといっしょにオープンキャンパスを盛り上げよう!

※上記プログラムは、変更する場合があります。
名古屋経済大学はエコ活動を応援しています。

平成24年度(2012)入試日程

※選考方法については、「2012年度入学試験要項」にてご確認ください。

入試区分		学部・学科	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
AO	I期	エントリー	平成23年4月29日(金・祝)~9月9日(金)	9月18日(日)	9月21日(水)
		正式出願(専修)	平成23年9月22日(木)~9月27日(火)	10月2日(日)	10月7日(金)
	II期	エントリー	平成23年9月12日(月)~10月7日(金)	10月16日(日)	10月18日(火)
		正式出願(専修)	平成23年10月19日(水)~10月26日(水)	11月3日(木・祝)	11月11日(金)
		エントリー	平成23年11月7日(月)~11月18日(金)	11月27日(日)	11月29日(火)
		正式出願(専修)	平成23年11月30日(水)~12月5日(月)	12月11日(日)	12月16日(金)

※その他、AO入試(IV・V期)、学力入試、センター利用入試も実施します。

入試区分	経済学部	経営学部	法学部	人間生活科学部	短期大学部	出願期間(消印有効)	面接日・試験日	合格発表日	
	現代経済	経営	ビジネス法	教育保育	管理栄養				保育
公募制推薦	I期	A方式(基礎力テスト型)	○	○	○	○	平成23年10月11日(火)~10月24日(月)	11月3日(木・祝)	11月11日(金)
		B方式(小論文型)	○	○	○	○			
		C方式(基礎力テスト+面接型)	○	○	○	○			
		D方式(小論文+面接型)	○	○	○	○			
		E方式(自己PR型)	○	○	○	○			
	II期	A方式(基礎力テスト型)	○	○	○	○	平成23年11月21日(月)~12月2日(金)	12月11日(日)	12月16日(金)
		B方式(小論文型)	○	○	○	○			
		C方式(基礎力テスト+面接型)	○	○	○	○			
		D方式(小論文+面接型)	○	○	○	○			
		E方式(自己PR型)	○	○	○	○			

大学院	研究科	専攻	試験会場	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日		
大学院	法学	企業法学	名駅サテライトキャンパス	博士後期	I期	平成24年1月6日(火)~1月17日(火)	平成24年2月11日(土)	2月15日(水)		
		法学		修士		平成23年8月15日(月)~8月23日(火)	平成23年9月10日(土)	9月14日(水)		
	会計学	会計学		博士後期	I期	平成24年1月6日(火)~1月17日(火)	平成24年2月12日(日)	2月15日(水)		
				修士前期		平成23年8月15日(月)~8月23日(火)	平成23年9月11日(日)	9月14日(水)		
	人間生活科学	幼児保育学		栄養管理理学	犬山キャンパス	修士	I期	平成23年8月24日(水)~9月1日(木)	平成23年9月18日(日)	9月23日(金)

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。
※法学研究科(修士課程)、会計学研究科(修士前期課程)では、II期試験(2月)、III期試験(3月)も実施します。

学校法人市邨学園 教育研究充実寄附金のお願い

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより私学を取り巻く環境が今後より一層厳しさを増すことを踏まえ、100年以上にわたり積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、また、ご質問・ご不明の点がある場合も、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

連絡先 学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当) TEL 052-853-0047(代表)

「SKE48 大学ナビ!!」

学食体験や詩の朗読、ウェディングドレスの試着など、キャンパスライフの楽しさをテレビで紹介!
7/14・21、8/18の3日間!
18:56からメーテレで放送予定。
お楽しみに!

MEIKEI 名経大通信 Vol.36

平成23年5月20日発行 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8904 犬山市内ヶ原61-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagoya-u.ac.jp/

MEIKEI

名経大通信 **36**
2011. 5.20 Vol.36
名古屋経済大学
名古屋経済大学短期大学部

top news
卒業する先輩から後輩へ贈ることば

news
新入生歓迎行事

topic
就業力育成フォーラム

award
学長賞受賞者、学業成績優秀者表彰
顕彰制度(Meikei Award)表彰式
全国保土養成協議会会長賞表彰
豆腐料理メニューコンテスト

student report
「みんなの保育アイデア」

human relations
活躍する卒業生(留学生編)
P.K.マンドラジュバクマラさん、周 娟さん

Relay Essay
私の学生時代
加藤 秀弥 准教授

student activity
震災ボランティア
義援金募金活動とR.I.A.の活動

club & circle
サッカー部、愛知学生連盟に正式加盟!

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で20名様に1,000円分の図書カードをプレゼント!

MEIKEI QR de アンケート

「名経大通信 Vol.36」について感想をお聞かせください。
締切日/2011年6月末日



http://www.smaster.jp/Sheet.aspx?SheetID=41817

企画/監修 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-67-0724
●印刷物の発行・発行・デザインなどの権利は、編集・発行部が保有します。



卒業する先輩から後輩へ贈ることば

応援 メッセージ



Assistance message

晴天に恵まれた3月18日、平成22年度名古屋経済大学・短期大学部の卒業式が厳かな中にも盛大に行われ卒業生567名が新たな門出を迎えました。それぞれの道を、夢に向かって歩いていく…そんな先輩たちに、後輩への熱いメッセージを語っていただきました。

親身になってくださったキャリアセンター

管理栄養学科で大変なことは国家試験勉強と就職活動を両立させなければならないことです。就職難といわれた昨年、不安を感じながら就職活動を全力でサポートしてくれたのが、キャリアセンターの方々でした。何も分からない状態でのスタートでしたが、親身になって相談に乗ってもらえたおかげで、楽しんで就職活動を行うことができ、内定をもらうことができました。

そして、国家試験に向けての勉強では国家試験対策授業があり、基礎固めからばっちりサポートをしてもらい、自信

を持って国家試験に臨むことができました。その中で友人と卒業旅行に出かけるなど、かけがえのない時間を過ごしながら、たくさんの思い出を作りました。時が経てば必ず社会人になるときがやってきます。自由に使える時間が多くある大学生活は、自分次第でいくらかでも楽しむことができます。今を思いきり楽しんで、後悔のない大学生活を送ってください。

人間生活科学部 管理栄養学科 卒業
株式会社東洋 神谷 依里さん



名古屋経済大学を選んでよかった！

名古屋経済大学に入学して良かった点は、軟式野球部に入部したことです。辛い事もありましたが仲間がいたから乗り切れたと思います。結果的に全国大会に出場することはできませんでしたが、それまでの過程に大きな意味があったと思っています。

サークル以外で思い出に残っているのは、やはりゼミです。学祭で私のゼミは3回生、4回生で「明宝フランク」を売ることで伝統になっています。優しい教授、厳しい先輩、気の合う仲間と協力してフランクフルトを売ることで、ゼミの

雰囲気も今まで以上に明るくなりました。普段なかなか話す機会がなかった仲間とも仲良くなることができ本当によかったと思います。おかげで打ち上げや飲み会をたくさん行うことができました。名古屋経済大学を選んで本当によかったと思います。

新入生の皆さんも早く目標や夢を見つけ、それに向かって日々努力に励んでください。

経営学部 経営学科 卒業
株式会社ホンダカーズ三重東 牧森 竜哉さん



周りの人たちに支えられて

私は幼い頃から、公立の保育士になることが夢でした。しかし、勉強が思うように進まず、落ち込んで諦めかけたこともありました。そんな中、急に前向きになることができたんです。それは、明るく励ましてくれたり、時には喝を入れてくれた人たちや、アドバイスをくれた母、相談に乗ってくれた先生、面接練習をしてくださったキャリアセンターの方々のおかげです。周りの人たちに支えられたから、今の私があると思います。

名経大での4年間はとても楽しく、あっという間でした。

みんなと会えなくなるのは寂しいですが、そう思える大学に通えて本当によかったです。社会人になることに不安もありますが、名経大での思い出を胸に、新しくできた仲間と頑張っていこうと思います。夢が叶った今、とても幸せです。

在学生の皆さんも、最後まで諦めず、共に助け合いながら夢を叶えてください。

人間生活科学部 幼児保育学科 卒業
安城市役所職員(保育士) 本郷 萌さん



積極的な行動

大学生活で常に意識していたことは、自ら人に歩み寄ることでした。そうすることで様々な人と接することができ、幅広い視野で物事が考えられるようになったと思います。

私はバレーボールの初心者でしたが、一人でバレーボール部に見学に行き、そのまま4年生まで部活動に熱中し、最高の思い出と最高の仲間を作ることができました。就職活動でも積極的に行動することで視野が広がった

と思います。すぐに内定をもらうことはできませんでしたが、様々な会社の説明会に参加し、多くの人と話すことで、本当に自分のやりたい仕事が見えてきました。失敗を恐れて何もしないより、何事にも挑戦していく方が楽しいはず。就職難で大変だとは思いますが、苦しんだ分、成長できると思うので頑張ってください。

経済学部 ビルトマテリアル株式会社 岡野 智幸さん 現代経済学科 卒業



自分の好きなことを仕事に

年の離れた妹に、ミルクをあけたりベビーカーに乗せて公園に連れて行ったりと、世話することが大好きでした。周りのお母さん達からはよく「小さいお母さん」と呼ばれる程でした。中学3年生で進路を考えた時、「自分が好きな事を仕事にしたい!」という思いが強く、名経大の保育科を選びました。保育科では、興味深い科目にたくさん出会い、いろいろな事を学ぶことができ行事にもたくさん参加し、仲間と協力して一つのものを作り上げる大切さも学びました。就職活動では笑顔と挨拶をモットーにいろいろな園を回り、就職説明会にも参加しました。

子どもの笑顔を見れば自然に笑顔が溢れ、笑顔で接すれば相手も気持ちよく受け入れてくれます。勉強や得意科目も大切にけれど、人と接する時は、笑顔で明るく、謙虚な気持ちを心がけています。そして何ごとにも前向きな気持ちを忘れず、就職活動にも取り組んできました。ずっと夢だった保育職に就く事ができ、とても嬉しく思っています。

大学に行かせてくれた両親に感謝し、これからは幼稚園教諭として子どもたちと毎日楽しい日々を送りたいです。

私立瀬戸幼稚園 若杉 花歩さん 短期大学部 保育科 卒業



目標と夢を意識した学生生活を

私は「警察官になる」という目標、夢を持って大学に入学し、それを達成するためには何を勉強して、何を経験すればよいのかを考えて学生生活を送り、目標を達成することができました。目標、夢を常に意識し、行動することにより、学生生活を充実したものにする事ができました。

しかし、これは一人ではできないことでした。もし、一人でこうした意識で生活を送ったとしたら、どこかで甘えが出ていたと思います。かけがえのない友人や、先生方、その

他多くの方が支えてくれたからこそ、目標、夢を意識した生活ができたと思います。

つまり、私が言いたいのは、かけがえのない「出会い」を大切にしてほしいということ。それを糧とし支えとして、自分自身の目標と夢を意識した学生生活を送り、その夢をぜひ達成してください。

愛知県警(警察官) 野倉 真一さん 法学部 法学科 卒業



一人前になる努力をしたい

短大生活は本当にあっという間でしたが、先生方をはじめ、たくさんの人にお世話になりました。また、多くの友人に恵まれました。名経短大はとても温かい入ばかりです。キャリアデザイン学科は、幅広い分野の授業があるので、何が自分に向いているのかを授業を通して見極めることができました。

就職活動で悩んだ時は、先生方に励まされ、元気をもらいました。内定を獲得できたのは、私自身の努力はもちろんありますが、サポートしてくださった方々のおかげだと思っています。本当に感謝しています。就職活動を通して

人として一回り成長できました。今後は社会人として、名経短大で学んだ事を活かし、早く一人前になれるように日々努力していきたいです。

信用金庫に入庫後は辛い事もあると思いますが、笑顔を決やらず、誰からも好かれるテラー(窓口業務)になるのが目標です。キャリアデザイン学科の在学生の皆さん、就職活動は厳しいと思いますが、短大出身の利点を活かして、目標を持ち、笑顔を忘れず、諦めずに頑張ってください。

短期大学部 尾西信用金庫 太田 愛果さん キャリアデザイン学科 卒業



平成23年度 入学式を挙行

4月1日(金)、平成23年度入学式を挙行了。晴天に恵まれ、早くから集まった新入学生たちは晴れやかな笑顔で記念写真におさまり、期待を胸に緊張しながら入学式に臨みました。

開式に先立ち、東日本大震災で被災された方々に哀悼の意を表して黙祷を捧げました。開式の辞、高蔵中学校・吹奏楽部による大学歌の祝演に続き、末岡学長は告辞で「大きな転換期を迎えている日本の経済が潤かれている現状を考えるならば、これから大学で

学ぶことの意義を自覚して、自分の人生の確固たる基盤を築き、卒業の時には安定した正規雇用での就職先が得られるよう、早くから目標に向かってチャレンジする精神を持つことの意義は大変大きいと思います。人間教育に視点を置いた本学に、今日、皆様方を迎えることができましたのは、この上ない喜びであると同時に、大学生活では知識と教養の蓄積と人間形成に努められることを期待しております。」と新入生へ激励の言葉を述べられました。



新入生歓迎行事

●経済学部 フレッシューズ・ウォーク

フレッシューズ・ウォークを終えて

今回のフレッシューズ・ウォークは犬山の城下町を回りました。コースの下見、犬山城や電車のチケットの手配、景品や小道具、昼食の食材等、色々な物の買出しもあって、ことに前日・前々日は目の回るような忙しさでした。しかしレコース決めがはっきりしており、実行委員の全員が自分で動くことができたので、当日は大いに楽しめたのではないかと思います。準備は大変でしたが、皆が一丸となったこと、新入生をきちんと歓迎できたことを大変うれしく思っています。

新入生の皆さん、その他、取り組みに関わってくださった多くの方々、ありがとうございました。

フレッシューズ・ウォーク 実行委員会委員長
経済学部 現代経済学科 2年 桑田 展佳さん



フレッシューズ・ウォーク実行委員会のメンバー(写真上)
新入生(写真下)

新入生

有意義な時間を共有

フレッシューズ・ウォークでは、まず国宝犬山城に行き、現存するお城の中で最古のものであるということ学びました。また、当日城下町では犬山祭が開催されており、大きな車山(やま)を何人もの人々で押ししており、とても迫力があり勇壮的でした。昼食では、人間生活科学部 管理栄養学科の先輩方が作ってくださった、ピザや豚汁をおいしく頂きました。

その後は、ゼミ別で一つの課題を協力して解いていくゲームを行い、皆で一つの目標に向かって問題解決をしていくことの重要性を学びました。

このフレッシューズ・ウォークを通じて大学のある犬山市の歴史や、伝統的なお祭りに触れ、またゼミ生との距離も縮まったように感じ、とても有意義な時間となりました。

経済学部 現代経済学科 1年 近藤 高正さん

●法学部 フレッシューズセミナー

迎えられる側から迎える側に

昨年4月、フレッシューズセミナーを受けました。スタンブラリー、模擬裁判、法学部卒業生の講演、今でも記憶に残っています。そして気が付いたら、今年自分がフレッシューズセミナーを運営する立場に変わっていました。委員は総勢22名、各自に役割が割り振られます。私が担当したのは模擬裁判の練習、司会のセリフ作りとパンフレット作成でした。こういったイベントの運営は、ボランティアの力によって支えられているということをつくづく感じました。たいへんではありましたが、きっと新入生の皆さんの名経法学部での新しい生活のスタートをお手伝いできたのではないかと思います。

法学部 法学科 2年 豊田 一成さん



模擬裁判

新入生

将来について考えるきっかけができた

大学に入って早々にフレッシューズセミナーというものを受けました。初日にOB・OGの方々の話を聞きました。今後、自分自身が大学の4年間をどう過ごすのか、進路はどうするのかなど、聞いてためになる話が多く、自分がこれからどうしていけば良いか、明確に考えることができました。

最終日に行われた模擬裁判も良かったです。模擬裁判がはじまった瞬間に緊張感が伝わってきて、厳粛な気持ちになりました。模擬裁判を見終えてから、いろいろ考えさせられることが多く、とても良い経験しました。

法学部 ビジネス法学科 1年 土井 勇治さん

●人間生活科学部 フレッシュマンセミナー

2度目の上級生サポーター

私は上級生サポーターとして2度目のフレッシュマンセミナーに参加しました。1日目は新入生と犬山城と一緒に登ったり、時間割を考えたりしました。2日目は城下町をウォークラリーで散策し、犬山の街について学んだり、新入生と一緒に食べ歩きをしたりしました。新入生に、時間割や先生方の話をする事ができて、楽しかったです。ふだんは他の学年と交流がないので、新入生や他の学年のサポーターと交流できて良かったです。

人間生活科学部 教育保育学科 4年 小和田 一美さん



新入生

授業が待ち遠しくなるフレセミ

入学時は自分と同じ高校から名経に行く人が少なくとても不安だったのですが、フレッシュマンセミナーを通してその不安がなくなり、すぐにみんなと仲良くなれました。

大学の授業の内容や時間割の組み方も先生方や先輩に分かりやすく教えていただき、とても意欲が沸いてきて早く授業が始まって欲しいと思いました。

人間生活科学部 教育保育学科 1年 橋本 信也さん

交流イベントで新入生から元気をもらおう

今年度のフレッシュマンセミナーは私たちの時と違い、犬山城の見学やウォークラリーが組み込まれたことで、交流が深まりやすい内容となっていました。上級生としては若いパワーに触れることで、私たちも元気をもらえたので良かったです。新入生の皆さんには、4年間を長いとは思わずに、一日一日を大事に有意義に過ごし、充実した大学生活にしてほしいと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科 4年 奥村 康平さん



新入生

セミナーで「新しい目標」を見つける

2日間あったフレッシュマンセミナーで、私は新しい友だちと知り合い、たくさんの思い出ができて、大学生活の大切さを学びました。寝食を共にすることで、これまで話したことなかったタイプの人と話すこともできました。犬山城見学・市街地散策では犬山の歴史を知ることでもできました。何よりもこのセミナーで新しい目標を持つことができたのが良かったと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科 1年 和田 友梨子さん

●短期大学部 保育科 フレッシュマンセミナー

目標実現へ向け、
意欲的に新学期スタート！

4月5日(火)・6日(水)、犬山市のホテル迎帆楼を会場に、1泊2日でフレッシュマンセミナーが開催されました。

教務・学生委員会関連のガイダンスをはじめ、学生同士の親睦を深めるゲームやウォークラリーが行われました。中でも、犬山市の公立保育所である「子ども未来園」の保育士と本学卒業生の幼稚園教諭の講演に感銘を受けた新生者が多かったようです。例年は満開の犬山の桜も、今年はまだ五分咲きでしたが、短大の新しい生活への不安も払拭することができ、自分のあこがれの職業に就職する！という目標を持って、意欲的に新学期をスタートすることができました。



国宝犬山城をバックに記念撮影

新入生

保育者になるための心構えを学ぶ

フレッシュマンセミナーに参加して、今の短大2年生や、保育者として活躍している人の話を聞きました。保育者になってもポジティブ精神を忘れず、子どもたちに対し、「～しないと～できない」ではなく、「～すると～できるよ」と言い換える前向きさが大切だと思いました。また、子どもにはこう成長してほしいという「計画」と、ではどうしたら成長できるのかという「計画」がすぐ大切なんだと知りました。常に子ども立場から考えられる、よい保育者になりたいと思います。

短期大学部 保育科 1年 足立 玲子さん



本学卒業生の久保先生



犬山市立上木子ども未来園の奥村先生



Potato Sack Race

●短期大学部 キャリアデザイン学科 フレッシュマンセミナー

4月5日(火)・6日(水)の両日、フレッシュマンセミナーを開催。

ガイダンスをはじめ、NPO法人の企画するワークショップや上級生との交流など盛りだくさんのプログラムに充実の2日間を過ごしました。

NPO法人NIED・国際理解教育センター 伊沢 令子氏



頼もしい新生生の入学

5日のフレッシュマンセミナーで、私たちは新生生の質問を受けることになりました。1年生が大学生活に関して疑問に思っていることを聞き、2年生がそれに答えるのです。最初は発言が出るかなあと思っていたのですが、私たちが想像していた以上に質問が出たことには驚きました。1年生には「やる気」があふれているんですね。皆さん、がんばってください。

短期大学部 キャリアデザイン学科 2年
安田 有希さん
山本 しおりさん



ワークショップの様子

新入生

多くを学んだ2日間

女性の人数が圧倒的に多い中で、私たち男性陣はフレッシュマンセミナーにいろいろ不安を持っていました。しかし、来てくださったNPO法人の方々の企画により、皆さんと話す機会や一緒に活動する場を作ってくださいました。それによって、早く大学の雰囲気になじむことができました。スケジュール的には少し詰め込みすぎな気がしましたが、時間を無駄にすることなく、なにより楽しみながら、2日間を過ごせたと思います。

短期大学部 キャリアデザイン学科 1年
若尾 祐介さん

就業力育成フォーラム

「就業力育成フォーラム」と教育プロジェクトについて

3月19日(土)に本学名駅サテライトキャンパスでキャリアデザイン学科主催「就業力育成フォーラム」を開催しました。昨年9月、本学科教育プロジェクト「コース別インターンシップによる就業力育成」が文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択され、第1部ではこの半年間の取り組みの進捗状況を報告するとともに、基調講演としてヤマザキマザック(株)専務取締役の森中晴夫氏に「いま企業に必要な人材と短大・大学教育に期待すること」と題しお話をいただきました。第2部のパネルディスカッションでは各分野で活躍されているパネリストの方々に学生に必要な就業力について議論していただきました。



パネルディスカッション
左から代田 義勝教授、岩藤 純生氏、朱宮 裕子氏、後藤 克幸氏



森中 晴夫氏による基調講演

ヨーロッパ海外研修

「憧れの街パリ8日間」



平成23年2月25日～3月4日の8日間、参加学生は12名。FINNAIRが6時間遅れの出発で前途多難の感あり。予定外のヘルシキ1泊はお得だったのかな？

2日目、期待を胸にパリ市内観光。やっぱりパリは美しい。凱旋門、エッフェル塔、セーヌ川の流れ、どこで写真をとっても絵になる12名の美しい学生たち。ティズニーランドはホテルからバスで30分の至近距離。日本より狭いけど、パリのムードを満喫した。美術館、ヴェルサイユ宮殿、世界遺産のモンサンミッシェル、シャンゼリゼ大通りなど、すべてがエレガントで大人社会。ウェディング研修、パリ専門学校生との交流を通して、パリは日本人にとっても優しい街でした。

短期大学部 キャリアデザイン学科 水口 美知子 准教授



専門学校生との交流



ウェディング研修

平成22年度 学長賞受賞者

3月18日(金)卒業式において学術、文化、スポーツ、社会活動を奨励し、それらの振興を図ることを目的として、学生または学生団体の卒業生を対象に「学長賞」を授与しています。

栄えある受賞者の皆さんは、壇上からこやかな笑顔で記念写真に収まりました。



学業が特に優秀であった卒業生

経済学部 現代経済学科	大嶽 雅利さん
経営学部 経営学科	山田 祐歌さん
法学部 法学科	大森 希美さん
人間生活科学部 幼児保育学科	小池 理絵さん
人間生活科学部 管理栄養学科	日下部 梨加さん
短期大学部 キャリアデザイン学科	堀場 敦子さん
短期大学部 保育科	森 美穂さん

文化活動に顕著な功績があった卒業生

法学部 法学科	彦坂 ゆかりさん
人間生活科学部 管理栄養学科	森 郁恵さん

スポーツ活動に顕著な功績があった卒業生

人間生活科学部 管理栄養学科	宮澤 早紀子さん (女子バレーボール部)
----------------	-------------------------



経済学部 現代経済学科	2年 大澤 清さん 3年 池上 博一さん 4年 浅野 伊代さん
経営学部 経営学科	2年 廖 燃さん 3年 森 智史さん 4年 侯 継彬さん
法学部 法学科	2年 江坂 美咲さん 3年 石田 直之さん 4年 戸崎 知世さん
人間生活科学部 管理栄養学科 教育保育学科 管理栄養学科	2年 小島 由香恵さん 3年 篠原 里佳さん 4年 南 友利恵さん
短期大学部 保育科	2年 山田 菜央さん
短期大学部 キャリアデザイン学科	2年 中島 梨紗さん

平成22年度 学業成績優秀者表彰

4月1日(金)平成23年度入学式に続き、平成22年度の学業成績優秀者14名の表彰が執り行われました。日頃のたゆまぬ努力を讃えて奨学金が授与されます。学業成績優秀者表彰が新入生の目標になればと今年度から入学式終了後に執り行われることになりました。



第5回 顕彰制度(Meikei Award)表彰式

3月10日(木)本学講堂においてMeikei Award 表彰式が執り行われました。学園創立100周年を記念して創設された顕彰制度も今年で5回を数え、どの受賞者も緊張した面持ちで壇上上がり学術研究センター長・宮川昇教授から表彰状を受け取りました。

それぞれの輝かしい活躍内容の発表に会場からは借しめない拍手がおくられ、更なる活躍と努力に期待して表彰式は滞りなく終了しました。



個人の名

【最優秀賞】

大学院 法学研究科博士後期課程 3年
黄 増華さん 写真◎
◆[中華人民共和国法律職業資格証書]
(中国の司法試験)獲得

【優秀賞】

経営学部 経営学科 4年 斎藤 隆伸さん
◆日本商工会議所簿記検定2級・販売士検定2級・ビジネス会計検定2級に合格
法学部 法学科 卒業 彦坂 ゆかりさん
◆法学部学生支援室学生運営委員長・フレッシュヤーズセミナーの運営「カフェ・メレンゲ」の責任者を歴任
法学部 法学科 4年 湯上 翔太さん
◆中日新聞「学生之新聞」の企画編集に参加

団体の名

【最優秀賞】

チームMゼミ2010 写真◎
(人間生活科学部 管理栄養学科)
◆家庭料理検定2・3級合格と「香川栄賞学園優秀賞」/パインアップル缶詰レシピコンテスト「優秀賞」
地域情報誌「Myu」にレシピを紹介

【奨励賞】

経済学部 現代経済学科 2年 大澤 清さん
◆2010年開催のTOEIC学内試験において本学歴代2位
法学部 法学科 2年 小川 兼志郎さん
◆ビジネス法務実務検定3級・2級に合格
法学部 法学科 2年 柘植 輝さん
◆宅地建物取引主任者試験をはじめ各種試験に合格

【努力賞】

短期大学部 キャリアデザイン学科 卒業 伊尾 香苗さん
◆2010年開催のTOEIC学内試験において短期大学部歴代1位

【優秀賞】

わくわくいちむらつ子展保育科 2年生実行委員会(短期大学部 保育科)
◆わくわくいちむらつ子展の運営と活動

【奨励賞】

学生自治会執行委員会(短期大学部 キャリアデザイン学科)
◆新入生歓迎会・キャリア祭・卒業パーティーの独自実施とオープンキャンパスでのサポート
わいわい犬山フェスティバル保育科 1年生実行委員会(短期大学部 保育科)
◆犬山産業振興祭「ワークショップ」における地域交流

【努力賞】

名古屋経済大学女子バレーボール部
◆東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会での活躍
名古屋経済大学 R.I.A (Research Intelligence Agent)
◆東海豪雨の被災地調査と報告会および防災マップの作成



平成22年度 全国保育士養成協議会会長賞表彰

社団法人全国保育士養成協議会は、保育士を養成する学校を会員とする団体です。

毎年、全国の保育士養成校で資格を取得した学生の中から、特に学業優秀で、かつ保育所保育士として就職が決定した者が選ばれ、全国保育士養成協議会の「会長賞」が授与されます。

平成22年度は、人間生活科学部幼児保育学科の三上史晃さん、短期大学部保育科の西田純奈さんが表彰されました。三上史晃さんは碧南市社会福祉協議会 新川保育園、西田さんは名古屋市中村区の社会福祉法人 挑水会 並木保育園で、それぞれ保育士としてのスタートを切りました。

保育士という仕事は、これからの社会で大いに活躍が期待されます。子どもたちとともに生活し、日々喜びを分かち合い、一人ひとりの子どもたちの未来が素晴らしいものになるよう、しっかりと支えていきたいと願っています。



人間生活科学部 幼児保育学科 卒業
三上 史晃さん

短期大学部 保育科 卒業
西田 純奈さん

豆腐料理メニューコンテスト

〈学生の部〉3位までを独占!

3月8日(火)犬山市商工会議所 特産品開発実行委員会主催の第1回犬山豆腐料理メニューコンテスト 第2次審査会が名古屋経済大学で開催され、一般の部・学生の部に分かれて自慢のレシピを披露しました。

学生の部において管理栄養学科の学生が1位から3位を独占!「豆腐のレアチーズタルト」で優勝した水谷友紀さん、「優勝だなんてビックリ」。チーズケーキとタルトにサンドされた抹茶フィリングをアクセントに犬山城の桜並木をイメージした作品は、春の訪れを感じる逸品でした。

2位「豆腐水ようかん」の橋本和典さん、3位「あほかどうぶ」の富川由紀さん、惜しくも賞は逃したものの、「ピリ辛!! 豆腐春巻き」の後藤翔太さんも大健闘。

一般の部は、ラップにくるんで蒸すだけの手軽さと、子どもからお年寄りまで誰からも愛される味が決め手となり「豆腐とささみのソーセージ」の徳永佳さんが優勝されました。



●2位 橋本 和典さん(2年) ●3位 富川 由紀さん(3年)



優勝
人間生活科学部
管理栄養学科 3年
水谷 友紀さん

優勝作品
「豆腐のレアチーズタルト」

「名誉教授称号」4教授に授与

本学の教授として15年以上勤務し、教育上または学術上特に功績のあった教授に対して授与される「名誉教授称号」。教授会の議を経て、4名の教授がこの栄誉ある称号を授与されることになりました。



経済学部 現代経済学科
吉田 啓子 名誉教授



法学部 ビジネス法学科
庄司 節子 名誉教授



人間生活科学部 教育保育学科
宮田 尚雄 名誉教授



人間生活科学部 管理栄養学科
山下 和雄 名誉教授

『みんなの保育アイデア』

今年も冊子ができました!

短期大学部保育科では、保育士資格を取得するための「保育実習(事前事後指導)」という授業の最後に、学生たち一人ひとりの保育のアイデアを集めた「みんなの保育アイデア」という冊子を作っています。短大2年間で様々な授業や実習を通して得た経験を元に、それぞれが工夫を凝らして考えたものをまとめたもので、卒業式の日に1冊の本になったものが手渡されます。就職先の幼稚園や保育所で、子どもたちのために日々の保育を考えると、この冊子を開くことで、ともに2年間がんばってきた仲間の絆や支えを感じてくれることでしょう。



短期大学部 保育科 教育・保育実習委員

メイクイのお弁当日和 vol.7

春のオリジナル・お花見弁当

春爛漫のお弁当づくりを楽しもう!

春うららぶ満開の桜の下で家族・友人・恋人といただくお弁当は格別のおいしさですね。一年に一度、貴重な時期だからこそそごおを入れてお弁当づくり。今回は春の旬の食材をたっぷり使った、花見弁当を紹介します。

主食は、桜ご飯。桜の桃色を出すために桜エビを入れ、ゴマで香ばしさを出しました。おかずは、春野菜の炊き合わせ、鶏の甘辛煮、一寸そら豆と海老のかき揚げ、卵焼き、春菊のナムルです。

春らしいお花のモチーフがポイント!



❖ MENU ❖

- 桜ご飯
「桜」は揚げた生心を、「新芽」は湯がいたそら豆を型抜きして飾り、桜えびとゴマの香ばしさがアクセントに。
- 春野菜の炊き合わせ
人参・たけのこ・オクラ、となりにイチゴをそえてビタミンカラーが食欲を誘う。
- 鶏の甘辛煮
一寸そら豆と海老のかき揚げ
春を予感するつるつる緑とサクラ色のコンビネーションがふりふりえびの食感が楽しい。
- 卵焼き
- 春菊のナムル
ナムルは薬材本来の味がそのまま味わえるシンプルな味付けにしました。
春菊のほろ苦さと塩味が絶妙なバランス。
- 桜の蒸しケーキ

人間生活科学部 管理栄養学科 4年
古川 祐子さん

デザートは桜の蒸しケーキ。春野菜の炊き合わせは、旬のたけのこをたっぷりいれました。さっぱりと味わい深い野菜の炊き合わせです。一寸そら豆とえびのかき揚げは、一寸そら豆のホクホク感とえびのふりふり感の相性が抜群です。

このように、旬の食材をたっぷりいれ、少しのアイデアでお花見もさらに素敵に演出が出来ます。今年はいつもと違う空間で桜の季節を満喫してみませんか。





TRICO JAPAN (トリコ・ジャパン)
P.K.マヘンドラ
プシユバクマラさん
経営学部 経営学科 2008年卒業

将来は、自分の会社を持ちたい

私が勤務しているトリコ・ジャパンは、海外へ荷物を運搬する仕事を請け負っている会社です。社員は社長も含めて5人ですが、全員スリランカ出身。事務作業から実際の荷物の受け取り、梱包、運搬までを少ない社員全員で行い、お客様の要望に応じています。仕事は大変ですが、人助けをしているという気持ちで頑張っています。

名経大に在学していた時は、中国・韓国・ベトナム・ネパールなど、様々な国から留学生が集まっていました。日本人はもちろん、彼らと仲良く交流できたのが、一番の思い出です。

将来は、自分の会社を持つのが私の夢ですが、信念を持ってやれば、なんでもできると思っています。留学生の皆さんも頑張ってください。



株式会社 三興工業所
三興 周 娟さん
経済学部 現代経済学科 2008年卒業

中国語と日本語を使う、翻訳業務を担当

私は車イスを作っている会社「三貴工業所」に勤めています。中小企業ですが、中国、韓国、シンガポール、台湾、アメリカに進出し、上海工場と韓国の子会社もできました。会社の規模が日々拡大しているので、今後も業績が伸びると期待しています。

私は中国語と日本語を使って、日本向けの受注業務と上海で製作する特注品の翻訳業務を担当。電話に出て、パソコンでデータ入力を行う仕事をしています。入社して3年、つらいこともありますが、日本と中国のかけ橋として、日々頑張っています。

就活に取り組んでいる留学生の皆さんも、これからいろいろ大変かもしれませんが、自分の目標をしっかりと持ってあきらめず頑張ってください。



名古屋経済大学叢書第5号

『全ロシア憲法制定会議論』

法律文化社 2011年3月発行
法学部 ビジネス法学科 教授 新美 治一 著

1961年8月、真夏の太陽がまぶしく輝く極東の港町、ナホトカに到着した。5年間の留学生生活の始まりである。1991年12月、吐く息も凍てつかんばかりの厳冬のモスクワ「赤の広場」で、ソ連邦の「赤布」にハンマーと鎌を組み合わせた国旗が、肅々と降ろされるのを見ていた。

私がソ連邦を「資本から解放され、本来の意味での自由と平等を享受し、労働が国の生活の基準になる国」への壮大なプログラムを押し進めている国、と思いはじめる契機になったのは、1958年11月に、代々木の国立体育館で行われた「十月革命41周年記念集会」であった。

エスコートしてくれた友人とそのお父さんが、「ソヴィエトの夢」を語ってくれたのも、大きかったと思う。

ソ連邦の5年間の留学生生活は、勉強という点から言えば、実に充実したものであった。しかし、私が思い描いていたものとは、どこかで、何か少し違う、という感じが少しずつ強くなると、モスクワを後にした。

福島大学時代の1985年4月から1年間、ソ連

邦科学アカデミー国家と法研究所に、文部省の在外研究員として滞在した。ベレストロイカの前後である。留学時代からのロシアの友人たちは、政府や党の中堅として活躍しはじめていた。そのかれらが、ソヴィエト社会の危機を種々さまざまな観点から議論していた。ソヴィエトという社会と国が苦しみながら、苦吟しながら、「変革」をしようとしていた。苦しみから永遠に解放されたのが、1991年12月である。

『全ロシア憲法制定会議論』は、この社会と国への千々に乱れる思いを整理し、「ソヴィエト社会主義」をその原点に立ち返って、見直すための最初の本格的な作業である。その結果は、ソヴィエトは「資本から解放され、本来の意味での自由と平等を享受し、労働が国の生活の基準になる国」を築くための道程の初めの第一歩で、それらの道を踏みはずしたのかもしれない、との仮説を論証し得たのではないかと、思う。これに続く作業が求められる所以である。



Profile
にのみ じいち
1958年 東京教育大学入学、1961年 モスクワ民族友好大学への留学に伴い退学、1966年 同大学を卒業、1972年 名古屋大学法学部助手、福島大学教授を経て、1999年 本学教授、その後、法学部学部長を経て現在に至る。1917年に成立したソヴィエト政権の憲法の分析、および現代ロシア憲法の「人権条項に係る問題」の研究、日本国憲法の「平和と人権」に係る問題。

Relay Essay 013

リレーエッセイ

私の学生時代

研究者(大学教員)という、さぞかし勉強が好きなのではと思われるかもしれない。私は勉強が好きであったかといわれると、嫌いではないものの、好きではなかったように思う。実際、大学時代には友達と一晩中カラオケで歌いまくったり、飲み明かしたりしていた。車を持つようになると、夏はキャンプや釣りに行ったり、冬はスノーボードや露天風呂に行ったりしていた。このことから分かるように、学生時代にどのようなことをしたかと聞かれれば、「遊びました」と答えてしまふであろう。また、学生時代にはファッションにも興味があったため、毎月ファッション雑誌を3冊くらい買い、しばしばブランドショップに行ったりもした。今では、いつも同じような服を着て授業をしているため、そのようなことは想像できないかもしれないが、事実である。

不思議なもので、学生時代に良く遊び、多少おしゃべりをしたことで、今ではそれらにほとんど関心がなくなってしまった。折角の休みの日には本を讀んだり、研究したり、部屋にこもることが多くなってしまった。これには、好奇心旺盛なのだが、飽きっぽい性格であることも影響していると思う。

私は、大学生時代から研究者になりたいと思っていたわけではなく、やりたいことがないため、ひとまず大学院に行って資格を取りながら将来のことを考えようと考えていたくらいである。大学院に進学すること

が決まった際に、大学の先生から「研究者になったらどうか」と言われたことがきっかけで、研究者を目指すことにした。あまり人の意見に耳を傾ける人間ではないものの、自分の好きな研究ができるなら、研究者もいかなあど考えたのである。そういった意味では、その先生のおかげで今の仕事をしていると言っても良い。私が学生に早めに自分のしたい仕事を見つけたほうが良いと口を酸っぱくして言うのも、このようなまづい経験があったのである。

学生時代は、自由になる時間があつたため、いろいろなことを経験してほしいと常に考えている。もちろん、「授業で学ぶ内容については勉強し、理解してもらいたい」と最後ぐらいは教員らしく結んでおく。



Profile
かとう ひでや
2005年3月 名古屋大学大学院経済学研究科 博士後期課程修了(経済学博士)
2006年4月 名古屋経済大学経済学部講師を経て2009年4月より経済学部准教授
趣味は読書と音楽鑑賞

●リレーエッセイ
今回は、経済学部 現代経済学科 田口 義明 教授 です

05 研究室訪問



私の研究

経営学部 経営学科 吉澤 洋二 教授

体育心理学、スポーツ心理学が、私の専門領域です。以前は、スポーツ選手のパーソナリティについて横断的な研究を行い、高校生、大学生、社会人のバスケットボール選手の競技意欲について、性差、競技レベル、競技年数などから、その特徴を明らかにしてきました。現在は指導者のコーチング行動に着目し、選手がコーチング行動をどのように見ているのかを調査し、選手がどのような指導者のコーチング行動を好む(やる気を高める)のかを明らかにしようとして研究を続けています。今後は、どのようなコーチング行動がチームを導くために必要かを指導者へ提案できるように、研究で得られた知見を整理していこうと考えています。

Profile
よしざわ ようじ
1979年 筑波大学体育専門学群卒業(体育学)
2006年 奈良教育大学大学院教育学研究科修了(教育学)
スポーツメンタルトレーニング指導士(日本スポーツ心理学会)

student activity >>>>

震災ボランティア

義援金募金活動

今回、募金活動を行うと思ったのは、テレビや新聞で、地震によってそこで暮らしていた人達が大きな被害を受け苦しんでいることを知ったからです。同じ日本人として何か少しでも力になれることができれば、支援したいと考え、「募金活動」という形で支援を行いました。

※学内で募金活動を行った結果、総額151,013円を日本赤十字社を通じ、被災地に寄付することができました。



人間生活科学部 教育保育学科 4年 岩崎 純也さん



(右から2人目 岩崎 純也さん)

R.I.A.のメンバーとしての初仕事

こんにちは。R.I.A(リサーチ インテリジェンス エージェント[®])の立木健一です。地震発生時は経済学部特別研究室にいました。そこから長時間にわたる情報収集を行い、自分は何かができるのだろうと考え、WEB上のマップへ避難場所、通行止めや金融機関・郵便局の営業などの情報を入力する手伝いをすることにしました。約2週間、大変な日々でしたが、自分にはこのぐらいのことしかできないのでそれほど苦ではなかったです。3月下旬に正式にR.I.A.のスタッフになり今後も活動を続けていきます。

なお学生が運営するカフェ・メレンゲも、収益から3万円寄付したことを付記させていただきます。

※ 経済学部の授業「地域調査」を受講した学生を中心とした学生の自主組織です。地図を活用して、安心・安全等の情報を共有し、地域の問題解決に取り組んでいます。

経済学部 現代経済学科 2年 立木 健一さん



(手前 立木 健一さん)

club & circle >>>>

サッカー部、愛知学生サッカー連盟に正式加盟！

サッカー部は平成23年2月から新たに監督(吉見洋行氏/ジュビロ磐田アカデミーや磐田市選抜でコーチを歴任)を迎え、4月より愛知学生リーグに正式加盟しました。

早速4月10日(日)の大学選手権予選から新チームが始動。残念ながら1回戦(名古屋産業大学戦)で敗退しましたが、確実に成長を感じさせました。5月22日(日)から始まる愛知学生サッカーリーグ戦ではさらにチーム力を高め、新体制となった成果を見せたいと思います。



吉見 洋行 新監督

Profile

よしみ ひろゆき
1990~1991年 石川県国体成年二部選抜メンバーとして1991年 石川県国体 成年二部全国優勝
1992年 日本ヘルス&スポーツ学院 スポーツ健康管理科を卒業
1992年 高崎教員団として全国社会人大会優勝、天皇杯県大会優勝
1995~1996年 高崎国体 成年二部選抜メンバー
1996年 高崎教員団として全国社会人大会優勝、天皇杯県大会優勝
2001・2002年 ティナモ郡全域全国社会人大会連続優勝
2006~2009年 田原FCコーチ
2008~2009年 磐田市4種トレセンコーチ、ジュビロアカデミーコーチ、磐田市選抜の韓国遠征コーチ
取得資格 2007年 日本サッカー協会公認C級コーチ
2009年 日本サッカー協会公認GK・C級コーチ

中・高ニュース

中・高生、全国レベルで大活躍

～市郞校～

全国高校選抜でテニス団体 男子ベスト8、女子ベスト16

～震災の影響で中止の競技も～

市郞校では、テニス(男女)のほか、バドミントン(女子)、体操(女子)、スキー(女子)が県大会・東海大会等の予選等を経て、全国高校選抜大会の出場権を獲得。夏季の全国高校総体や秋季国体に続いて、市郞生の活躍が期待される所でした。

しかし、東北・関東地方を襲った未曾有の東日本大震災。多くの競技の実施が見送られることとなり、バドミントン、体操、スキーの大会が中止に。市郞生の活躍を全国に見せる機会を逸したことは非常に残念ですが、事態の深刻さからはやむを得ないと思われれます。

そうした中、震災の影響から団体戦のみで開催されたテニスの第33回大会では、男子がベスト8、女子がベスト16にそれぞれ入賞しました。

この他に、中学校新体操部が2月にアメリカ・ジョージア州アトランタで開催されたスターカップ国際大会に出場、スキー部が、岩手県で開催された全国高校総体冬季大会、第66回国体冬季大会に出場しました。



体操部(左:高嶋さん、右:杉村さん)



テニス部
(女子団体と男子団体)



バドミントン部
(左:樋口さん、右:有吉さん)



インターハイに出場のスキー部
(左から 星野さん、尾川さん、荒川さん)



～高蔵校～

全国へ発信!! 地域とつながるエコ活動

日頃からの「環境」への取り組みが評価され、環境省後援「高校生エコアクション・プロジェクト」全国大会中部地方代表校として高蔵高校が選出。北海道から沖縄まで16校の高校と海外からの3校が、環境活動の発表と意見交流会を2日間行いました。大会では、各校が「高校生エコアクション宣言」を発表。本校代表の生徒2名により「地域とつながることができる環境活動を行い、たくさんの人に発信していきたいです」と宣言しました。

本校では、生徒が普段から「環境」を自発的に捉えて様々な活動を実施、これが高く評価されました。各教科を通じた環境学習、それらを踏まえたホームルーム活動や、生徒会活動、文化祭での様々な企画。生徒たちは、こうした活動を通じ、環境問題が重要な課題であることを認識します。

さらに活動は学内にとどまらず、毎月行われている地域の清掃にも広がっています。これらの環境活動は知識だけに頼らず、行動と相まって成し遂げることができるもので、本校の教育理念に通じるものがあります。

今後も、「環境」を学校全体で取り組んでいき、生徒の人間育成に役立てていきます。



全国大会での発表
(文化放送メディアプラスホール)



高蔵高校代表
(左:本多さん、右:渡邊さん)